

近年、琵琶湖ではオオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ、ミズヒマワリなどの侵略的外来水生植物の分布範囲が拡大しており、船舶の航行障害や漁具への絡み付きといった被害が発生しています。

瀬田川でもこれらの植物が繁茂していることから、効率的で効果的な駆除方法を周知し、侵略的外来水生植物の再生や拡大防止に繋がることを目的として、漁業協同組合等により構成された団体が主催する「瀬田川流域クリーン作戦」と協働し、内水面生態系の維持・保全・改善を図っています。

- 日時 令和4年10月30日(日) 8:00~12:30
- 場所 瀬田川70.1k~75.0k付近(南郷洗堰付近~管理区域上流端付近)
- 参加者数 約57名(佐藤大津市長、清水県議会議員、滋賀県2名、琵琶湖河川2名)
- 実施内容 水際等の外来水生植物の駆除、浮遊一般ゴミ(ペットボトル、缶等)
- 成果 オオバナミズキンバイ(特定外来水生植物)等:約9.5t(藻を含む)、一般ゴミ約12袋

## 主な作業箇所



朝礼時の状況(佐藤大津市長挨拶)



特定外来植物の除去作業状況



除去前



除去後

特定外来植物の除去作業事前・事後(瀬田川右岸74.2k付近)



水草揚陸・仮置き場所(瀬田川左岸73.2k付近)